

しっかりコロナ対策して開く

「お蚕<sup>かいこ</sup>さんと治右衛門<sup>じえもん</sup>様」展  
～江南市勝佐町・十王寺～

10月10日（日）の朝、勝佐町の十王寺で、永らく恩恵を受けた地元の人なら“絶対に忘れてはいけないのに、忘れてしまっている”故 倉知治右衛門翁をテーマに展示会を開きます。



倉知翁（1848～1915）  
江南市勝佐町出身

下記の入場区分にご理解を！

8:30～9:30 保育園児と保護者

9:30～10:30 小学生と保護者

10:30～12:00 一般・中高生など

江戸末期に勝佐に生まれた 倉知翁は、明治日本が生糸の輸出で大きな利益をあげている事に着目、地元の原始的な養蚕業（蚕を育て繭とし生糸にする）を革新し、故郷を日本第二の大養蚕地帯に育て上げた立役者でした。倉知翁の地元は、絹織物に始まりやがて全国一のインテリア織物産地に成長し、人々は「神様、仏様、治右衛門様！」というほど翁に感謝したものです。



かいこ（蚕）



まゆ（繭）



きいと（生糸）

展示会では、倉知翁の遺品をはじめ、生きた蚕、繭、多彩な絹製品など展示しますが、繭から生糸を取り出す実演は見逃せません。

※保育園児、小学生などには倉知翁とのペア・ポラロイド  
写真を差し上げます。